

令和4年12月17日

各自主防災会長様
各町内会長様

広島市東消防署
署長 松永 真雄

令和4年「年末火災予防（警戒）運動」の実施について（お願い）

寒冷の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、消防防災行政につきまして、深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましては、12月20日（火）から12月31日（土）までの間、年末火災予防（警戒）運動を展開することとしております。

これからの時季は、暖房器具の使用等、火気を取り扱う機会が多くなるとともに、慌ただしさに紛れて火に対する注意も怠りがちになります。さらに、年末年始にかけての帰省等により家庭や地域の警戒が手薄となり、放火火災に対して特に注意が必要となります。

つきましては、家庭における出火防止及び放火火災の防止を強力に進めて参りたいと考えておりますので、下記の事に留意され、火災のない明るいまちづくりに御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1 住宅火災

「住宅防火 ～いのちを守る10のポイント～」

4つの習慣

- ①寝たばこは、絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使う時は、火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- ①ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

2 放火火災

「放火されない環境づくり」

- ①家の周りに燃えやすい物を置かない。
- ②ゴミは必ず収集日に出す。
- ③門扉・車庫・物置には施錠をする。

担当：予防課予防係 三宅・小林
電話番号：082-263-8401

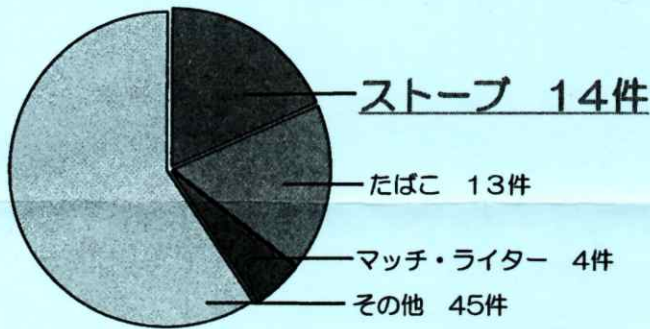
令和4年 年末火災予防(警戒)運動

12月20日(火)～31日(土)

年末の繁忙期を迎えるにあたり、不注意等による火災の発生が危惧されます。

また、これからの時季は、ストーブなどの暖房器具を使う機会が増えるため取扱いに注意が必要です。火災から大切な命や財産を守るために、しっかり火災予防対策をしましょう。

◎過去10年間の住宅火災における
出火原因別死者発生状況(平成24年～令和3年中)



他にもこんな火事が!!



ある寒い冬の夜、Aさんは友人と食事に行くため、こんろやストーブ等の火の始末を確認し、出かけました。

しばらくすると、Aさんの携帯電話に見知らぬ番号から着信。

なんと、Aさんの自宅が火事になったとの知らせでした...

原因を調査していくと、コンセントに長時間接続していたオイルヒーターの電源プラグの両刃が溶けているのが発見されました。

そうです、トラッキング現象が起きたのです。



ストーブ火災対策

- ・ ストーブの上に物を置かない。
- ・ 就寝時や外出時は電源を切る。
- ・ 火のついたまま給油しない。
- ・ 火をつけたままストーブを動かさない。
- ・ ストーブのそばで遊ばない。
- ・ 使用前に必ず点検や清掃を行う。

トラッキング現象とは

●長い間、差しっぱなしになったコンセントと電源プラグの間にはホコリがたまりがち。そこに湿気が加わると、電源プラグの刃の間で火花放電が繰り返されます。その熱がコンセントに接する絶縁部を加熱し、電源プラグの刃と刃の間に「トラック」と呼ばれる電気の道をつくります。やがてそこから放電をおこし、発火。これがトラッキング現象です。

【対策】

- 定期的にコンセントやプラグを掃除する。
- 長時間使用しない機器の電源プラグは抜いておく。
- コンセントを水で濡らさない。



万が一火災が発生しても早期発見が大切です。

住宅用火災警報器で大切な命を守りましょう

- 設置は済んでいますか？ ●定期的に点検していますか？

住宅用火災警報器は、**10**年を目安に交換をおすすめします!

—実施機関—

—協力機関—

(広島市消防局) (海田町消防団・坂町消防団・熊野町消防団)
(広島市消防団) (安芸太田町消防団・廿日市市消防団)